

Bruno Leonardo Gelber Piano Recital

最も偉大な百人のピアニスト、
ゲルバーがその集大成として
ソニックシティ初登場！

本物の巨匠

ブルーノ=レオナルド・
ゲルバー

ピアノ・リサイタル

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第14番

嬰ハ短調 op.27-2 《月光》

Beethoven : Piano Sonata No. 14 in C-Sharp Minor, op. 27, No. 2 « Moonlight »

シューマン：謝肉祭 op.9

Schumann : Carnaval, op. 9

ショパン：練習曲集より

Chopin : Etudes

ショパン：バラード 第4番 へ短調 op.52

Chopin : Ballade No. 4 in F Minor, op. 52

ショパン：アンダンテ・スピアナートと
華麗なる大ポロネーズ op.22

Chopin : Andante spianato and Grande polonaise brillante, op. 22

※お申込みいただいたチケットの変更およびキャンセルはできません。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

2018
11/3 (土・祝)

13:30 開演 (13:00 開場)
ソニックシティ大ホール

Sat 3rd November 2018, 1:30p.m. at Sonic City large hall

一般 S席 ¥4,000 A席 ¥3,000

●ホールメンバーズ特別価格 (ソニックシティホールのみ取扱い)

●埼玉県民特別価格 (ソニックシティ チケットポートのみ取扱い)

各席ともに
定価の半額
S席 ¥2,000 A席 ¥1,500

※埼玉県民特別価格は、埼玉県在住・在学・在勤の方が対象です。

ホールメンバーズ先行発売
5月17日 (木)

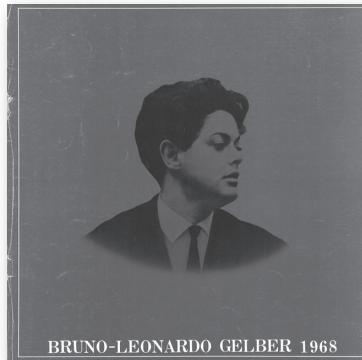
一般発売
6月7日 (木)

◎チケット取扱い

ソニックシティホール	048-647-7722 (9:00 ~ 18:00 / 日曜・祝日を除く)
ソニックシティ チケットポート	048-647-4001 (10:00 ~ 19:00 / 不定期)
e+ (イープラス)	eplus.jp
チケットぴあ	0570-02-9999 [Pコード: 112-641]
ヒラサ・オフィス	03-5429-2399

主催：ヒラサ・オフィス 共催：(公財) 埼玉県産業文化センター

1968年の初来日から50年——刻まれた歴史は、伝説になる。



BRUNO-LEONARDO GELBER 1968



1968年、初来日公演ツアーのパンフレット



オーストリア、フランス、イタリアの血を引く音楽家の両親のもとにアルゼンチンに生まれる。3歳半のとき母からピアノの手ほどきを受け、母は彼の生涯を通じて最も重要な音楽的影響を与えることになる。

ゲルバーは5歳でアルゼンチンでの初めての公開演奏を行い、6歳でヴィンチェンツオ・スカラムツツァに師事した。1年後、ゲルバーは重い小児麻痺にかかり、1年以上まったく寝たきりの生活を送った。しかし、彼にとって音楽はもっとも大切なものだったので、両親はベッドの上でも弾けるようにピアノを改造し、ゲルバー少年は練習を続けることができた。

15歳の時にはロリン・マゼール指揮の下、シユーマンの協奏曲を演奏してゲルバーの名は南米中に知れ渡った。19歳でフランス政府からの奨学金を得てパリに留学。彼の演奏を聴いたマルグリット・ロンは「あなたは私の最後の、しかし最高の生徒になるでしょう」と語った。彼女からロン=ティボー国際コンクールへの出場を勧められたゲルバーは、第3位に入賞したが、彼こそ優勝にふさわしいとする聴衆とマスコミの間で大いに物議を醸した。

ヨーロッパではこれが国際的な活躍のスタートとなり、以後、ゲルバーはリサイタルやオーケストラとの共演で華やかな活動を繰り広げることとなった。これまでに彼は延べ5000回以上の演奏を行なっている。

デビュー当時から多くの偉大な指揮者から評価されたが、その中にはエルンスト・アンセルメ、ルドルフ・ケンペ、ジョージ・セル、ヨゼフ・クリップス、キリル・コンドラシン、ヨゼフ・カイルベルト、アンタル・ドラティなど、錚々たる顔ぶれが並んでいる。



その後、世界中で華々しい活動を展開し、ライトナー、テンシュテット、ラインスドルフ、マズア、チェリビダッケ、コリン・ディヴィス、デュトワ、ハイティンク、マゼール、ロストロポーヴィチ、シャイー、エッセンバッハ、サロネンなど、多くの名指揮者としばしば共演している。

日本には偉大な評論家であった吉田秀和氏の推薦で1968年に初来日以来、数多くの来日公演で絶賛を博しており、2018年の来日が初来日以来50周年の記念公演となる。

ゲルバーのレコーディングはすべて世界的に高い評価を得ており、ACCディスク大賞を2回とADFディスク大賞を受賞している。

ミュンヘンの著名な評論家のカイザー曰く、「彼は驚異である」。さらにアルトゥール・ルービンシュタインはゲルバーを「彼の世代で最も偉大なピアニストの一人」と称え、パリ・フィガロ誌は『彼は、我々が十分に知っていると信じてきた作品について、さらに多くのことを教えてくれ、そしてこれからもずっと、限りなく教え続けてくれるであろうアーティストの一人である。』と表している。

フランスのディアパソン誌は、ブルーノ・レオナルド・ゲルバーを20世紀の最も偉大な百人のピアニストの一人に選んでいる。

B
r
u
n
o,
l
e
o
n
a
r
d
o
G
e
l
b
e
r
P
i
a
n
o